



第 28 番 馬郎婦觀音(めろうふ)

唐の時代、馬という青年は多くの若者と争った末絶世の美女を妻とした。だが妻は式当日に急死した。死骸は見る影もなく、人々はそこで容色にとらわれる愚かさを悟ったという。この馬の妻こそが觀音様だったのである。